

花いっぱい運動の推進

花は人の心を和ませ安らぎを与えます。また季節により様々な花が咲くことで四季の流れを感じることが出来ます。花いっぱい運動は、仮設住宅やその周辺の地域（駅前や商店街）、そして学校などに、プランターを設置したり花壇を作って様々な花を植える運動です。さらに、花を植える作業を通して、被災者や地域の人、学校の生徒や児童、先生などとの交流も生まれます。多くの赤十字奉仕団が花いっぱい運動に取り組んできました。



【2013年6月本宮市本宮赤十字奉仕団による花いっぱい運動】（活動報告からの抜粋）

浪江町からの避難者が入居する本宮市の高木仮設住宅において、本宮市本宮赤十字奉仕団が入居者と一緒に、夏秋咲きの花苗の植え付け作業を行いました。終わったあと、茶話会により交流を図りました。



花植えを終わったあとの茶話会も大切な目的の一つです。



【2014年5月 広野町赤十字奉仕団による花いっぱい運動】（活動報告からの抜粋）

広野町赤十字奉仕団が、広野町の福祉施設や小学校、幼稚園、保育園の花壇やプランターに花を植えました。皆さん大変喜んでおり、奉仕団への期待も感じました。幼稚園では園児も一緒に水やりなどを楽しく行いました。



あいにくの雨模様の天気でしたが皆さん協力して植えました。